

# ゆきぐまら

議会だより

平成27年  
第117号  
4月26日  
発行



## 御湯宿 中屋の露天風呂より

### CONTENTS

編集後記	26
一般質問	25
議会表決結果報告	15
議員出勤簿／議会活動日誌	14
地方創生対策特別委員会報告	13
臨時議会（1月28日）／	12
閉会中の常任委員会調査	11
議会基本条例と議員倫理条例	10
開会中の常任委員会報告	9
平成26年度一般会計補正予算	8
代表質問	7
町長の施政方針に対する	6
平成27年度	4
当初予算審査特別委員会	3
一般会計予算 反対討論／	2
平成27年度一般会計予算	2

### 目次

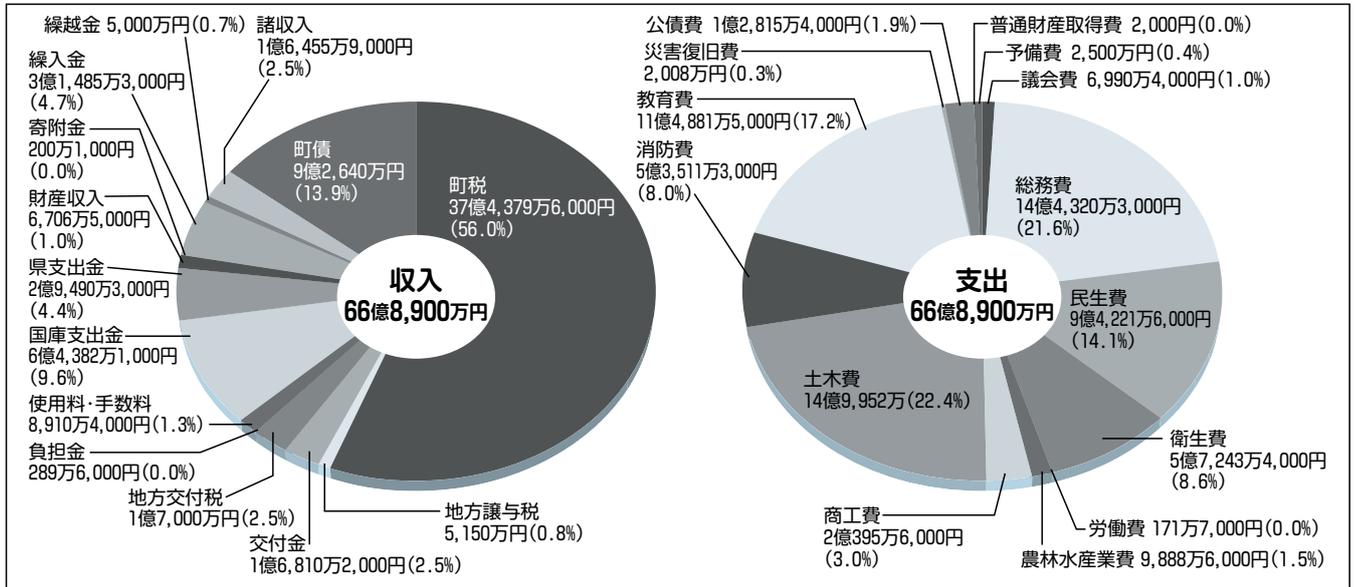
平成27年度当初予算の審査及び町長の施政方針に対する代表質問など白熱した議論が展開されました。

- インターネットにより本会議の音声配信を行っています。
  - ① 湯沢町ホームページから
  - ② 町議会情報を選択
  - ③ 本会議録音音声継ぎを選択
  - ④ 目次から、日付を選択してください。
- USTREAMによる、インターネット中継配信を行っています。（本会議終了後約1ヶ月間が掲載期間です）
- 一般質問は、FMゆきぐまらに放送による音声配信をしています。

# 平成27年度 一般会計予算 66億8,900万円

(前年度比8.1%増 5億6,000万円増)

平成26年度一般会計当初予算は、慎重審議の結果、賛成多数により可決いたしました。



## 一般会計における町民1人当たりの貯金（基金）と借金（債務）

	25年度末	26年度末見込	27年度末（予定）
貯金（基金）	29万円	23万円	18万円
借金（債務）	35万円	38万円	47万円

※平成27年3月末、住民基本台帳人口8289人より算出

## 特別会計

会計名	平成27年度予算額	平成26年度予算額	前年比 (%)
国民健康保険	12億8,218万7,000円	10億8,848万6,000円	増 18%
後期高齢者医療	8,911万4,000円	8,673万3,000円	増 3%
介護保険	8億3,848万円	8億6,365万1,000円	減 3%
下水道	15億9,460万4,000円	15億8,573万4,000円	増 1%

## 企業会計

		平成27年度予算額	平成26年度予算額	前年比 (%)
水道事業	収益的収入	4億1,898万9,000円	4億2,325万円	減 1%
	支出	3億8,013万6,000円	3億6,784万9,000円	増 3%
	資本的収入	200万円	200万円	0%
	支出	1億4,569万円	1億5,100万7,000円	減 4%
病院事業	収益的収入	1億9,281万1,000円	1億9,887万1,000円	減 3%
	支出	2億5,276万7,000円	2億3,790万6,000円	増 6%
	資本的収入	1億3,789万6,000円	2億1,894万7,000円	減 37%
	支出	1億4,254万1,000円	2億2,282万8,000円	減 36%

## 平成27年度 一般会計予算 7:4 賛成多数で可決

### 反対討論

佐藤 守正

一般会計の定員管理（役場の人件費）に問題があると思うがゆえの反対です。

平成17年度の184人がこの10年間で30%以上減らされ126名になっていきます。中央政府から新たな課題が次々と降りてきて、仕事量は増えこそすれ減ってはいないのです。これは無謀な人員削減ではないでしょうか。こんなにまで定員を減らさねばならぬほど、湯沢町の財政がひっ迫しているとはどうい思えますか。

来年から役場の機構改革で新たに部課制になります。今年より12名も少ない職員でのスタートです。

ほとんどの部や課で定員が減らされ、多くの職員はこれでほんとに仕事がこなせるのかどうか、不安に思っているはず。丁寧で確実な仕事、町民

に対しても親切な仕事をするためには、職員の心に余裕がなくてはなりません。追いつめられて心の病にかかる人が絶えない状態です。ここまで定員を減らす執行部に考え直すよう要求して、私の反対討論とします。

高橋 綾夫

明らかに不足すると分かっている少ない除雪費の計上、そして中央公園のフットサルコート2面建設とアルプの里ガレバハウスの建て替えて約1億円の事業費計上は、少ない税収の中で町経済の活性化のため優先順位を決めてやることをやると言われた内容とはとても思えません。

国は「地方創生」を進めるうえで、住民、産、官、学、金、労等が知恵を出し合っ、町づくり、行政を行うよう言っています。一年間の予算計画についても同じです。町民が納得できる予算に組み替えての再提案を求めます。

## 平成27年度 主な事業

テニスコート改修



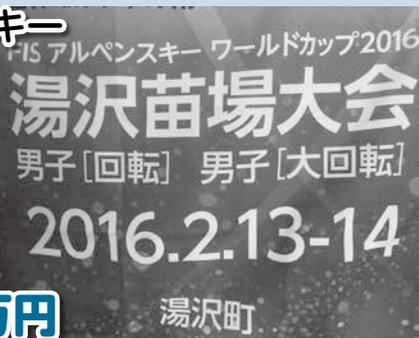
7,850万円

駅東口アーケード歩道改修



900万円

アルペンスキーワールドカップ



2,000万円

緊急告知ラジオ不感地帯解消事業(浅貝地区)



2,000万円

統合文教施設整備



7億7,701万5,000円

病院事業会計補助金



1億5,493万5,000円

# 平成27年度 当初予算審査 特別委員会



特別委員長  
角谷 勉

## 総務課

### 町制60周年 記念事業は

- 問 町制60周年記念事業に係る構想はいかに。
- 答 文教施設の竣工式も含めて検討中である。
- 問 湯沢高原契約更新の考え方は。
- 答 多くの観点で検討を進める。
- 問 消防無線デジタル化事業とは。
- 答 アナログ無線が使用出来なくなるために南魚沼市に負担金として支出する。
- 問 防火水槽の整備状況は。
- 答 消防からも要請されている。用地取得等種々の問題がある。
- 問 三俣地区の光ファイバー網敷設は。
- 答 多額の費用を要する。再三NTTに要望している。実現するため努力する。

## 企画政策室

### 起業支援補助金の 支出事業の公開は

- 問 リゾートマンション交流事業補助金の現状は。
- 答 114万6000円の申請実績がある。
- 問 起業支援補助金を支出した事業の公開は。
- 答 チェック体制の構築を検討中。
- 問 マグナ植樹事業の現状は。



湯沢学園4月6日現在

答 マグナ側との打合せが必要。湯沢学園、役場が候補である。

## 教育課

### 教育課の 新年度体制は

- 問 教育課の新年度以降の組織体制はいかに。
- 答 保育士22名及び臨時職員が21名。次年度以降は臨時職員は半減する見込み。

問 学園管理費の統合によるスケールメリットは

答 上半期のデータからの試算で、上下水道料は3割減、ガス料金は大幅減、電気料はほぼ同額の見込み。

問 学校給食に使用する町内産米と統一米との差額が補助額か。

答 町内産米を60キロ当たり、2万円で購入する予定。現状の統一米との差額52万2000円が補助額となる。

問 文化財除雪補助の現状は。

答 除雪経費の10分の8を補助している。

問 地区運動会の今後は。

答 検討中である。

問 保育園跡地を児童公園に整備する考えは。

答 声が地域より挙がれば検討する。

## 産業観光課

### 東山フィッシング パークの今後は

問 登山道の整備は。

答 草刈時期について、受託業者と花の開花時期



テニスコート

に配慮して実施するよう調整している。

**問** 経営転換協力金の基準は。

**答** 農家が農業営業を辞する場合、中間管理機構を介し、新たな営農者を探す。耕地面積が一反以上は協力が支払われる。

**問** 雪国観光圏事務所の専従事務職員がいないのは問題では。

**答** 関連市町村よりお叱りを受けている。知恵を

しほり事業を進展させていきたい。

**問** 東山フィッシングパークの今後は。

**答** 来年度以降、運用できない旨を了承した。

### 議会事務局

**問** 共済費の用途はいかに。

**答** 新しい議員は年金制度の適用はないが、議員

年金該当議員に対する給付費用に主として拠出される。

### 地域整備課

#### フットサルコート

#### の改修経緯は

**問** 中央公園テニスコートをフットサルコートに改修する経緯は。

**答** 利用者の減少が主因、各観光協会のアンケートでフットサルコートの要望が多く、改修になった。

**問** 事業用リフォーム補助金の現状は。

**答** 補助限度額は10万円であるが、多角的に検討をすすめる。

**問** 東口商店街アーケードの老朽化は。

**答** 老朽化は承知しているが、対応は組合になる。

**問** 中央公園の指定管理料算出の根拠はいかに。

**答** 人件費、光熱費が主因である。

**問** 温泉通り整備計画の展望は。

**答** 5年間の完結は難しいと考える。長期的な展望が必要と考える。

### 上下水道課… 下水道特別会計

#### 下水道接続率は

**問** 下水道接続率の状況は。

**答** 26年3月現在で水洗化率は87.3%である。

26年度、新規接続件数は16件である。

**問** 処理場の今後の展望はいかに。

**答** 三俣処理区は29年度の供用開始を目指し、土樽・松川処理区は湯沢浄化センターとの統合を早急に考えていきたい。

### 上下水道課… 水道事業会計

#### 近隣市町村との 水道料金の比較は

**問** 経営利益が計上されているが、資金的余裕があるという認識でよいか。

**答** 一般会計より1538万8000円繰り入れられているが、下水道会計特別会計と比すればその認識で良いと思う。

**問** 水道料金の近隣市町村との比較は。

**答** 湯沢町は近隣市町村に比して安価であるという認識である。

### 健康福祉課

#### 在宅寝たきり者等 介護手当て支給事業 の減額は

**問** 湯沢町には無保険者はいるのか。

**答** 町民課に届出をしなければならぬので当該者はいないと考える。手続きに時間がかかっているのも事実である。

**問** 不妊治療助成の現状は。

**答** 26年度は9人に助成。母子手帳発行は3件。

**問** 在宅寝たきり者等、介護手当支給事業の減額は。

**答** 利用者の減少が主因。現在35名が1万円の支給を受けている。

### 健康福祉課… 介護保険特別会計

#### 特定入所者と 特例特定入所者の差異は

**問** 在宅医療・介護連携推進事業費が5000円では少額過ぎるのでは。

**答** 在宅医療・介護連携推進協議会を立ち上げるための委員報酬費である。

**問** 生活支援体制整備事業が9000円では少額過ぎるのでは。

**答** 生活コーデイネーターを養成するための旅費である。

**問** 特定入所者介護サービス費と特例特定入所者介護サービス費の差異は。

**答** 特定入所者介護サービス費とは施設入所者において、低所得者に軽減及び補給費を給付するものであり、特例特定入所者については介護認定申請前にショートステイ等を利用した場合、特例的に前述該当者に対して給付するものであるが、湯沢町は該当者がいないため、10000円のみの上である。



基幹病院

【答】 当該事案の方はない。

### 健康福祉課 病院事業会計

【問】 病床数について、介護病棟等の稼働率はいかに。

【答】 12月まで平均の数値で、療養病棟で75・31%、介護病棟で75・83%、一般病棟は68・62%である。

### 町民課

### 窓口業務の 土日実施は

【問】 シツパネ条例制定に係る予算が措置されていないか。

【答】 交通安全対策費に包含している。大きな看板の設置等は考えていないが多方面から検討していきたい。

### 健康福祉課 後期高齢者医療制度 特別会計

【問】 保険料の滞納によって短期証の方はいるのか。

【答】 現在の住基カードはシステム構築に多額な費用をかけて全く普及せず、多額な無駄遣いに終わった。マイナンバーのシステムもそのような危惧はないのか。カード紛失時

等の危険性はどうか考えているのか。併せて、湯沢町としては構築費用をどの程度か。

【答】 今回の予算計上は、町民課所管分はカード配布事業部分のみであり、他は総務課の情報課推進費で計上されている。27年度は3743万5000円を計上している。福祉部門にも及ぶ大きな事業だが、国庫補助では全額が出ないので町単費も多い。カード紛失時の危険性はいまのところ分からないが、カード引渡しは窓口で直接手渡しに実施する。

【問】 役場窓口業務を土日にも実施するつもりはないか。

【答】 他では実施しているところもあることは承知している。窓口延長は今のところは費用対効果がかんがみると難しい。

# 町長への 総括質疑

【問】 W杯に向けて町長自ら町民課所管分に対して協賛依頼に行くことは結果として相手が断りにくく、町長という肩書きのある人が行う行動ではないし望ましくないと思うが。

【答】 トップ自らが先頭に立つて動き、絶対に成功させるといふ思いである。

【問】 観光事業者は各観光協会に加盟し湯沢の宣伝やブランドを構築してきたが、昨今観光協会に加盟しない事業所もある。町は今後も観光協会に対して宣伝事業費等を助成するが、その他の助成に対しては観光協会に加盟しない事業者に対しても助成するのは不公平だと

【答】 観光事業者は各観光協会に加盟し湯沢の宣伝やブランドを構築してきたが、昨今観光協会に加盟しない事業所もある。町は今後も観光協会に対して宣伝事業費等を助成するが、その他の助成に対しては観光協会に加盟しない事業者に対しても助成するのは不公平だと

【問】 観光事業者は各観光協会に加盟し湯沢の宣伝やブランドを構築してきたが、昨今観光協会に加盟しない事業所もある。町は今後も観光協会に対して宣伝事業費等を助成するが、その他の助成に対しては観光協会に加盟しない事業者に対しても助成するのは不公平だと

【答】 観光事業者は各観光協会に加盟し湯沢の宣伝やブランドを構築してきたが、昨今観光協会に加盟しない事業所もある。町は今後も観光協会に対して宣伝事業費等を助成するが、その他の助成に対しては観光協会に加盟しない事業者に対しても助成するのは不公平だと

【問】 観光事業者は各観光協会に加盟し湯沢の宣伝やブランドを構築してきたが、昨今観光協会に加盟しない事業所もある。町は今後も観光協会に対して宣伝事業費等を助成するが、その他の助成に対しては観光協会に加盟しない事業者に対しても助成するのは不公平だと

【答】 観光事業者は各観光協会に加盟し湯沢の宣伝やブランドを構築してきたが、昨今観光協会に加盟しない事業所もある。町は今後も観光協会に対して宣伝事業費等を助成するが、その他の助成に対しては観光協会に加盟しない事業者に対しても助成するのは不公平だと

【問】 観光事業者は各観光協会に加盟し湯沢の宣伝やブランドを構築してきたが、昨今観光協会に加盟しない事業所もある。町は今後も観光協会に対して宣伝事業費等を助成するが、その他の助成に対しては観光協会に加盟しない事業者に対しても助成するのは不公平だと

【答】 観光事業者は各観光協会に加盟し湯沢の宣伝やブランドを構築してきたが、昨今観光協会に加盟しない事業所もある。町は今後も観光協会に対して宣伝事業費等を助成するが、その他の助成に対しては観光協会に加盟しない事業者に対しても助成するのは不公平だと

### 健康福祉課 国民健康保険 特別会計

### 支払い準備基金の 残高に問題はないか

【問】 国民健康保険支払準備基金の年度末残高がわずかに117万3000円だが問題はないのか。

【答】 本来医療費の1か月分程度、基金は欲しいが厳しい状況である。財政担当とも調整を進めてい

きたい。

【問】 国民健康保険支払準備基金がこの状況では、国民健康保険税の値上げに踏み切るといふことが。

【答】 今年度の所得状況等を基に総合的に検討を重ねることとなる。

# 町長の施政方針に 対する代表質問

町長施政方針は、3月30日発行広報の10ページ以降をご覧ください。

## 総務文教常任委員会

委員長 今村定一

### 町政運営その1

**問** 国が求める地方創生「総合戦略策定」に対して「町総合計画」の位置付けと「開花八策」との整合性はいかに。

**答** 総合計画は町にとって最上位の計画であって、町の総合的な振興や発展を目的とするもの。地方創生は人口減少対策と東京圏一極集中の是正が柱であって、総合戦略の目標は、人づくり、人の流れ、結婚出産、子育て、時代に合った町づくりが基本であり、これらは総合計画の重点課題とも重なり、総合計画の範中に

含まれるものと考ええる。

人口減少対策特に定住人口増加については地方創生以前から開花八策で掲げた施策であり総合戦略に該当する具体的施策になり得るものと考えている。

**問** 町長は町総合計画（開花八策）を進めることが地方創生に繋がるとしているようでありますが、残された期間の中でどのように具体化されていくのか。

**答** 総合計画とこの度のまち・ひと・しごと創生法の国が求めているところと同じだというふうな考えでおります。

### 町政運営その2

**問** 行政機構改革が業務の効率性に繋がると考えられているか。また過度の職員減少は一人一人の負担の増大に繋がりが、健康管理の面でも大きな問題である。削減計画は進めるつもりか。

**答** 機構改革で係長が置かれ、一人ひとりの担当業務と責任の所在を明確化することにより、効率よく業務運営をする。定員適正化計画はすでに計画を上まわっている状態にあるので業務量と職員数のバランスを考慮して、27年度中に見直す。

### 子育て支援の充実

**問** 子育て支援課に健康福祉課より保健師1名が配属されるが、今後の業務に影響が出ないのか。また、嘱託の管理指導主事については確定されているか。

**答** 保健師の育児休業対応等も考え平成26年に1名を採用した。従って保健センター業務の運営上

に支障はないものと考え

る。嘱託の管理指導主事については3月末で校長職を退職する方をすでに決定されている。

### 湯沢学園開校

**問** 開校一年を迎えるに  
おいて、町長として認識  
する問題点はあるか。

**答** 交流アリーナ棟が完成し施設全体が使用開始になって、子ども達が学園生活に慣れてくるとともに、意見は聞かれなくなってきた。

改善が必要な場合はその都度、学園と教育委員会  
で対応協議し、より良い学園づくりに取り組んで行く。

### 婚活支援

**問** 婚活支援の新事業は  
何か。

**答** 業者への入会費用を補助。

### 姉妹都市交流

**問** 交流活動の現状を踏

まえ、民間交流への発展  
についてはいかに。

**答** どのような取り組みができるか研究をしていく。

### ワールドカップ

**問** 実施にあたって全日本スキー連盟(SAJ)が資金集めをする  
ことについて、現状での進捗  
状況はいかに。

**答** 3月9日SAJ常務理事にお越しいただき、現在1億4000万円が集まったと報告を受けました。4月下旬には町民に良い報告ができる様、全力を尽くしているところで

### 町制60周年記念事業

**問** 記念事業について、  
具体的な計画はいかに。

**答** 記念式典の実施、記念誌の発行、記念品の配布など各部門全体による記念事業及びイベント等の実施などを考えている。

**問** 町民を含めた実行委員会を作る考えはないか。  
**答** 現状では考えてない。



ワールドカップ

# 厚生福祉任委員会

委員長 佐藤 守正

**問** 精神障害者のためのグループホームの設置計画はどこまで進んでいるのか。

**答** ここ数年の課題であったが、ようやく条件にあう物件が見つかり、その所有者の了解も取り付けた。現在この運営を依頼する事業所・南魚福祉会と交渉中である。今後地元町内会長等へ説明し、理解を得たうえで進めていきたい。

**問** 35～39歳の国保加入者と後期高齢者の人間ドック助成を今年度から始めたが、どれほどの利用があったか。慢性腎臓病と糖尿病の予防に力を入れたいとしているが、その罹患者は特に多いのか。

**答** 人間ドックの35～39歳の受診は21名、ほぼ予定通りである。後期高齢者の受診は28名であった。平成24年の住民健診と人間ドック受診者の血糖

値異常の割合は41・8%で県内1位、ヘモグロビンA1c（血液中の血糖状態を示す値）が高い割合は73・2%で県内3位。数年後には糖尿病になるであろう予備軍の割合が非常に高いので、予防に力を入れたい。

**問** 今年の国保支払い準備基金は極端に少ないが、なぜか。

**答** 国保財政は非常に厳しい。平成27年度予算では、準備基金のほとんどを取り崩して不足する財源に充てる。また一般会計から2800万円の法定外繰り入れて、国保税のアップを防ぎたい。準備基金が足りなくなったから一般会計からの繰り入れて補足せざるを得ないが、町民から頂く保険税を上げたくないための措置であることを理解して欲しい。

**問** 湯沢病院への評判は好評も悪評もあるが、それらは放置しておいてもいいのだろうか。

**答** 湯沢病院は、平成14年の開院以来、24時間365日の医療サービスの提供により、町民のかかりつけ病院としての機能を果たしている。苦情が寄せられれば、院内で速やかに対応するだけでなく、センター便りでの経過を報告しており、親切丁寧な説明に努めている。町としても管理協議会や運営審議会の中で病院との協議を行って

**問** 湯沢病院は、平成14年の開院以来、24時間365日の医療サービスの提供により、町民のかかりつけ病院としての機能を果たしている。苦情が寄せられれば、院内で速やかに対応するだけでなく、センター便りでの経過を報告しており、親切丁寧な説明に努めている。町としても管理協議会や運営審議会の中で病院との協議を行って

**問** 「すくすく子育て応援金」の効果のほどはいかに。

**答** 現時点で28件、29名のお子さんに計290万円の応援金を届けた。まだ1年が終わっていないので、今後の展開については町民の声を聴きながら検討していく。

**問** 町とスキー場安全対策協議会で事故防止対策の推進、新たな事故発生時には迅速に対応していく。

**答** 町とスキー場安全対策協議会で事故防止対策の推進、新たな事故発生時には迅速に対応していく。

**問** 活用していきたい。起業の申し込みは4件250万円です。

**問** 新米の時期に地元農家と越後湯沢温泉旅館の連携とあるが、民宿や飲食店にも拡大することは考えていないのか。

**答** 民宿組合、飲食店などに地産地消できるようにお願いしたい。

**問** 農産物の高付加価値化、6次産業化を推進とあるが、起業の重点事業に入っていないのはどうしてか。

**答** 新事業に参入する企業に一部支援する。今後検討していく。

**問** 県道越後湯沢停車場岩原線は通学路になっており、改良事業は急を要するが、町長の意気込みはどうか。

**答** 県に幹線道路としての改良事業の要望をしていく。

**問** 街並み修景整備事業は、完成までに長い期間を要するが、いつ頃までに完成させる目標なのか。

**答** 事業期間を延伸して事業を進めます。平成31年度までと考えています。

# 産業建設常任委員会

委員長 関 忠夫

**問** 観光客500万人回復を考えているが、何年ぐらいと想定しているのか。また、観光客のカウント方法（算出）はどのようなに行っているのか。

**答** 来町客が500万人になるように努力していく。

正確なカウントをどのような方法でできるか考えていきたい。

**問** 北陸新幹線延伸による湯沢町への影響はどう

認識しているのか。

**答** 冬期間は影響は少ないと思う。北陸新幹線開業により関心が高まり、相乗効果があると思う。

**問** 雪国湯沢のブランドは、どのようなものを求めているのか。

**答** 歴史、文化、くらしを深掘りして、雪国といえは湯沢地域であると発信したい。

**問** 安全安心なスキーの町として認知されるとあるが、今後の方向性の具

体策はあるのか。

**答** 企業誘致は案内パンフレットを作成して広く

活用していきたい。起業の申し込みは4件250万円です。

**問** 新米の時期に地元農家と越後湯沢温泉旅館の連携とあるが、民宿や飲食店にも拡大することは考えていないのか。

**答** 民宿組合、飲食店などに地産地消できるようにお願いしたい。

**問** 農産物の高付加価値化、6次産業化を推進とあるが、起業の重点事業に入っていないのはどうしてか。

**答** 新事業に参入する企業に一部支援する。今後検討していく。

**問** 県道越後湯沢停車場岩原線は通学路になっており、改良事業は急を要するが、町長の意気込みはどうか。

**答** 県に幹線道路としての改良事業の要望をしていく。

**問** 街並み修景整備事業は、完成までに長い期間を要するが、いつ頃までに完成させる目標なのか。

**答** 事業期間を延伸して事業を進めます。平成31年度までと考えています。

企業誘致は案内パンフレットを作成して広く

# 2億7,564万3,000円を減額 総額67億159万7,000円

平成  
26  
年度

3月5日 一般会計補正予算審査特別委員会を開催 委員長 白井孝雄

## 一般会計補正予算 (第13号)

### 歳入（収入）の主な増減

町民税	410万円減
固定資産税滞納繰越分	850万円減
地方交付税	242万5,000円増
国庫補助金	1,240万9,000円減
県補助金	574万2,000円減

### 歳出（支出）の主な増減

地方人口ビジョン・地方版総合戦略策定	500万円増
共同浴場指定管理料	360万円増
湯沢町観光協会宣伝事業補助金	1,300万円増
統合文教施設建設費	1億3,514万8,000円減

## 主 な 質 疑

**問** 地方人口ビジョン・地方版総合戦略策定の内容・スケジュールは。

**答** 当初より1000万円が盛り込まれているが、その中の500万円分を湯沢町は使う人口ビジョンの策定についてはデータ解析が主となる。スケジュールは現在のところ未定である。

**問** 共同浴場指定管理料が増額となっているが。

**答** 稼ぎ時の1月の売り上げがかなり落ち込んでしまったこと、電気料および除雪費の増加が主因である。

**問** 湯沢町観光協会宣伝事業補助金の内容は。

**答** 湯沢駅内広域観光情報センターに職員が現在2名体制となっている。これの体制強化を図ることによる増額である。

## 全員賛成で可決



除雪費等で指定管理料増額

# 開会中の常任委員会審査報告

## 総務文教常任委員会

委員長 今村定一

3月9日

(議案29件・発議4件)  
※主なもの(詳細は表決結果参照)

役場の機構改革、学校統合、「子ども・子育て支援法」の施行およびその他法改正等に生じた条例改正が23件

20件全員賛成、3件賛成多数・可決

スキー場への町有地貸付契約の期間終了に伴う再契約案件6件  
(ガーラ湯沢スキー場、岩原スキー場、湯沢パークスキー場、ルーデンス湯沢スキー場、苗場スキー場浅貝ゲレンデ、ナスパスキーガーデン)

6件とも賛成全員・可決

- 問 30%減額での更新は何回目か  
答 3回目となる
- 問 町として減額の基準があるのか  
答 ありません
- 問 全てを一律に減額するのではなく、基準によって減額幅を決められないか  
答 スキー産業支援の見方もある。振興協議会と協議しながら対応する。

●発議4件(議会基本条例、議会議員政治倫理条例他2件)  
4件とも賛成全員・可決

## 厚生福祉常任委員会

委員長 佐藤守正

3月9日

(議案8件中6件賛成全員、2件賛成多数・可決)  
※主なもの(詳細は表決結果参照)

湯沢町介護保険条例の一部を改正する条例の制定

賛成全員・可決

第6期介護保険事業計画で定めた保険料改定と第1段階の被保険者の保険料を減額するもの。基準額(第5段階)は5000円。

問 新たな保険料は、近隣他市町村と比べてどうか。  
答 県内で一番低いと思う。

湯沢町病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定

賛成全員・可決

主な内容は運営審議会の定数を8名から10名以内に変更するもの。

問 定員を増やしても多くの意見が集まるとは考えにくい。  
答 現委員からの要望で、子育て中の方や介護経験者に加わってもらいたい意向である。

## 産業建設常任委員会

委員長 関 忠夫

3月10日

(議案8件全て賛成全員・可決、請願1件賛成者なしで不採択)  
※主なもの(詳細は表決結果参照)

越後湯沢駅前広場条例の一部を改正する条例の制定

賛成全員・可決

駅前広場の使用料を1平方メートル年2000円から1500円に下げる内容

問 固定資産評価額が下がったからなのか。  
答 その通り。

問 24年度からわずかな間にこれほど(約25%)下がったのか。  
答 そうです。

湯沢町電気自動車急速充電器使用料徴収条例の制定

賛成全員・可決

現在、三保道の駅に設置してある充電器の使用料金を一回500円にする内容。

問 今まで(無料)の利用回数は。  
答 1月1日～3月9日までで96件。

問 今後設置数は増えそうか。  
答 増える予定はある。

●農協改革をはじめとした「農業改革」に関する請願  
賛成者なしで不採択

# 「湯沢町議会基本条例」と 「湯沢町議会議員政治倫理条例」

各条例全文は湯沢町ホームページで御覧下さい

「湯沢町議会基本条例」と「湯沢町議会議員政治倫理条例」が3月23日の本会議において全員賛成で可決されました。

この条例は4月30日(選挙後の新議員任期開始日)から施行されます。

## ●湯沢町議会 基本条例

「湯沢町議会基本条例」は町民に開かれた信頼される議会の構築および議員活動の活性化を図ることをもって、町民の意思を的確に反映できる議会を目的として制定したもので、町民の皆様へ積極的に情報を公開し意見交換を行い、住民の意思が行政に的確に反映されるよう議員活動を行わなければならぬことを定めています。

## ●湯沢町議会議員 政治倫理条例

「湯沢町議会議員政治倫理条例」は湯沢町議会議員が町民の代表として議員活動を行う際に、遵守すべき政治倫理に関する行動基準を定めることにより議員の政治倫理の確立を図り、町民に信頼される開かれた民主的な町政の発展に寄与することを目的に制定したもので、議員として政治倫理上行つてはいけなことを具体的に定めています。

## 議会基本条例 賛成討論

高橋 綾夫

我々議会は、この4年間で議会改革推進の一環として、ユーストリームによる議会中継、「FMゆきぐに」での一般質問放送、「議会だより」の紙面改善等を行ってきました。そしてこのたび、一年半前から検討を重ねてきた「議会基本条例」の上程に至ったわけですが、来月の統一選後の新議会がこの議会改革の流れ

れを更に進めて、本条例制定の目的に掲げた「町民に開かれた信頼される議会」「町民の意思を町政に的確に反映できる議会」となるよう、ぜひ全議員が賛成してこの条例を可決し、次期議会に受け渡していただくようお願いいたします。

## 議会議員

## 政治倫理条例 賛成討論

関 忠夫

湯沢町議会議員は町民

の代表であります。議員活動を行うさいに遵守すべき政治倫理に関する行動基準等を定めることにより、議員は政治倫理の確立を図り、町民に信頼される開かれた民主的な町政の発展に寄与すること。

町民の信頼に値する倫理観と自らの責任を果たすよう努めなければならぬと思っております。湯沢町議会議員政治倫理条例は必要な条例であり賛成いたします。

この2条例制定が「まちづくり基本条例」で定めた「協働での町づくり」の飛躍的な推進起爆剤となるよう、町民の皆様ご理解とご協力をお願いいたします。

## 湯沢町議会基本条例



# 議員表彰

長年に亘る議員活動の功績が顕著であるとして、全国町村議長会より表彰を受けました。

15年表彰  
佐藤 守正

# 閉会中の常任委員会審査報告

## 厚生福祉常任委員会

委員長 佐藤 守正

1月15日

### ●老人福祉計画と

#### 第6期介護保険事業計画

特に介護保険事業の今後が焦点。第6期計画中に、介護予防事業が『新しい介護予防・日常生活支援総合事業』に移行することになる。

所得段階は6段階から9段階となり、向う3年の保険料を算定してみると、保険料基準額（第5段階）は月額5000円となる。

#### 主なQ&A

#### ●高齢者人口のピークは。

● 減少に転ずるのは平成47年頃か。でも若者も減るので高齢化率40%は続く。

● 問 『新しい介護予防』への移行は難題だが。

● 答 家事支援や買い物などは、住民ボランティアに頼ることになりそう。2年間の準備期間で整えたい。



## 総務文教常任委員会

委員長 今村 定一

2月13日

### ●町税の収納状況

#### 主なQ&A

● 問 滞納が減らないのは。 ● 答 現年を優先するため。

## 産業建設常任委員会

委員長 関 忠夫

2月13日

### ●地域整備課主要事業の進捗

#### 主なQ&A

● 問 滝沢駐車場の除排雪は。 ● 答 費用がかさんでいる。掘った井戸は使えなかった。

● 問 テニスコート整備は。

● 答 4面がほぼ終了。

● 問 道の駅『みつまた』は。

● 答 ほぼ、とんとん。

● 問 固定資産の見直しは。 ● 答 平成27年。

### ●湯沢高原の運営状況

元旦の吹雪に週末の大雪、来場者数は低調だが昨年並み。雪下ろし時の労災発生。

### ●神立高原関係

『否認権行使請求事件』と施設の競売。

#### 主なQ&A

● 問 マックアースからも寄付の申し出があるが。

### ●登下校の歩道除雪

#### 主なQ&A

● 問 学園入口の県道と町道との交差点の改良は。

● 答 県街路事業として要望中。

### ●外国人観光客誘致活動

誘致活動と受入れ体制整備の各事



歩道の写真（地域整備課撮影）

● 答 寄付理由は白紙とし、議会とも認識を一つにしたい。

### ●新型インフルエンザ等

対応行動計画：パブコメへ。

### ●文教施設整備と教育体制

子育て支援業務を一元化し、総合子育て支援センターを認定こども園棟に設置したい。

### 業の説明

#### 主なQ&A

● 問 Wi-Fi整備は。

● 答 外国人需要に対応したい。

● 問 農産物の売り込みは。

● 答 米など物販につなげたい。

### ●北陸新幹線開業への対応

#### 主なQ&A

● 問 JRと夏の周遊ルートを。 ● 答 上越新幹線沿線も含め、完成に向かいたい。

### ●その他

- ▽バックカントリー
- ▽観光地の道路のあり方

# 臨時議会

## 1月28日

### ◆報告《町長専決》

平成26年度一般会計補正予算  
(10号)……………  
**賛成多数**

470万円の増額。歳入の428万  
円は基金から繰入れ。

#### 支出の主なもの

土樽地内の灯油もれ事故対策  
……………280万4000円 **増額**  
W杯スキー実行委員会補助金  
……………150万円 **増額**

### ◆『否認権行使請求事件』の 和解…………… **賛成多数**

2013年3月、当時の神立高原ス  
キー場(株)が固定資産税相当分として湯

沢町に寄付をし、その後破産しました。  
金額は約2164万円。

破産管財人から、この支払いは認め  
られなく、お金を返すよう請求され裁  
判で争っていました。

今年1月、裁判所から和解勧告(和  
解金2000万円)があり、これに応  
じようというものです。

破産法の壁は厚く、「不利」とのこと。  
和解となれば債権者の早期救済につな  
がるのが主な理由でした。

### ◆平成26年度一般会計補正予算 (11号)…………… **賛成全員**

左の表をご覧ください。

## 平成26年度 一般会計補正予算

### 第11号

平成26年度一般会計は、3,921万円  
を追加し、総額67億7,973万円。  
(千円以下切り捨て)

#### 歳入の主なもの

県支出金……………130万円 増  
基金繰入金……………3,665万円 増  
賠償金として……………126万円 増  
※賠償金は、福祉センター設備  
点検の際のミスで、温泉ポンプ  
が壊れて入れ替えた費用。

#### 支出の主なもの

前述の裁判の和解金と諸費用  
……………2,063万円 増  
病児・病後児保育の整備  
……………230万円 増  
都市計画施設の雪対策費  
……………1,000万円 増  
公民館消雪井戸ポンプ入替  
……………150万円 増

## 地方創生対策特別委員会 報告

特別委員長 岸野雅人

「講演会開催」2月19日／湯沢町役場3階大会議室

## 『地方創生で今、自治体に求められるもの』

内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局 参事官 高橋和久氏

地方版総合戦略とは、2060年へ  
向かい、日本社会を維持するため、2  
019年までの総合戦略を定めよ(努  
力義務)とするもの。

平成26年度の補正予算では4200  
億円、27年度予算は7225億円、他  
地方財政計画への計上が1兆円。

湯沢町にも他自治体と同様、策定経  
費として1000万円の予算

が付きませんが、これは突飛な夢  
物語ではなく、現実的な分析に  
基づきアイデアを出し合い、  
具体的な施策と評価指数によ  
り、効果的に政策を推進するた  
めです。また、各自治体の総合  
計画と別に策定することになっ  
ています。

※総合計画の見直しは目的や項  
目など地方版総合戦略の内容  
を備えている場合は一つのも  
のとしても構わないようで  
す。いずれにせよ、

①この機会を町の将来を見つめ  
直すチャンスととらえる。

②具体的にどのような将来構想

を描くことができ、それが交付金に  
結びつくか。

③戦略の実現に向けて国の人材支援が  
得られるか。  
等々、今すでに突きつけられた課題  
にどのような姿勢でのぞむかが問われ  
ています。



講演の様子

# 平成26年度 議員出勤簿

平成26年4月1日～平成27年3月31日

本会議は26年度に定例会・臨時会あわせて9回開催されました。その開催日の合計を出席必要日数（出席義務日）としています。この日数は全ての議員が同じとなります。欠席は1日まるまる休んだ場合を1日とし、遅刻・早退の場合は遅刻・早退があった場合ごとに1回として記載しています。但し、1日のうちで遅刻・早退があった場合は1回としています。本年度はそのような例はありませんでした。

次に、委員会については4つの常任委員会（総務文教・厚生福祉・産業建設・議会広報）と議会運営委員会及び4つの特別委員会（一般会計補正予算審査・当初予算審査・決算審査・地方創生）が設置されましたが、全ての議員が同じ委員会の委員ではないこと、また各委員会ごとに開催回数異なるため、必要出席日数も各議員によって異なります。また、その委員会の委員でない場合でも、請願の紹介議員として所属外の委員会に出席を求められたり、議長のようにほぼ全ての常任・特別委員会に出席していても、正規の委員ではないこと（委員外議員）から必要出席日数が0の議員もいます。

また、議会の申し合わせにより、議長は中立公平の立場から全ての常任委員会及び特別委員会の委員に就任していないほか、議会選出の監査委員も監査をする立場にあることから、決算審査特別委員会の委員には就任できないと決定しています。

会議名と 出欠状況  議員名	本 会 議				常 任 委 員 会				議 運 ・ 特 別 委 員 会			
	出席 必要日数	欠 席日数	遅 刻・ 早退回数	欠 席・ 遅刻・ 早退理由	出席 必要日数	欠 席日数	遅 刻・ 早退回数	欠 席・ 遅刻・ 早退理由	出席 必要日数	欠 席日数	遅 刻・ 早退回数	欠 席・ 遅刻・ 早退理由
高橋五輪夫	23				38	4		Ⓐ2Ⓔ2	17			
岸野雅人	23				36				17			
高橋綾夫	23				38	1		Ⓔ	17			
角谷 勉	23				38				28			
白井孝雄	23				36				28	1		早Ⓔ
関 忠夫	23				36				28	2		Ⓑ1Ⓔ1
宮田眞理子	23		1	早Ⓐ	16				17			
今村定一	23				16				28	1		Ⓑ
佐藤守正	23				16				28	1	1	欠Ⓔ遅Ⓐ
半澤利貞	23		1	早Ⓐ	15		1	遅Ⓐ	28	2	1	欠ⒶⒺ早Ⓐ
師田 保	23				17	1		Ⓐ	17		1	遅Ⓐ
南雲 正	23				0				5			

\*欠席・遅刻・早退の記載方法：欠（欠席）、遅（遅刻）、早（早退）と表示。  
理由の記載方法：Ⓐ病気等（自身、家族を含む）、Ⓑ冠婚葬祭（出席案内をもらった場合）、Ⓒ議員としての公務等出張、Ⓓ事故等、Ⓔ自己都合とⒶ～Ⓔで表示。

## 議会活動日誌

- 1月6日 県町村議長会 議長会議 (新潟市)
- 8日 湯沢町新春賀詞交歓会
- 13日 第1回議員全員協議会
- 15日 第12回議会基本条例研究会
- 16日 湯沢町・南魚沼市議員協議会打合せ会 (南魚沼市)
- 19日 第2回議会広報常任委員会
- 21日 第1回地方創生対策特別委員会
- 26日 第13回議会基本条例研究会
- 27日 第1回議会運営委員会
- 28日 第3回議会広報常任委員会
- 30日 第14回議会基本条例研究会
- 2月7日 北陸新幹線開業試乗会・長野駅視察
- 19日 第15回議会基本条例研究会「地方創生」講演会
- 18日 魚沼地域特別養護老人ホーム組合協議会 (八色園)
- 16日 湯沢温泉通り事業推進委員会
- 13日 第1回総務文教常任委員会
- 30日 第1回産業建設常任委員会
- 24日 湯沢小学校卒業式
- 30日 第3回議会広報常任委員会
- 7日 第19回越後湯沢全国童画展表彰式
- 6日 湯沢町・魚沼市・南魚沼市議会正副議長会議
- 4日 議員勉強会
- 5日～23日 第2回定例会 (会期19日)
- 20日 新潟県町村議会議長会総会 (新潟市)
- 21日 十日町雪まつり歓迎レセプション (十日町市)
- 26日 南魚沼地域土地開発公社理事會 (南魚沼市)
- 3月2日 第2回議会運営委員会 (南魚沼市)
- 4日 第3回議会広報常任委員会



# 議員表決結果報告

## 27年1月臨時議会・3月定例議会

- ・採決結果の記載方法（可＝賛成多数で可決・採択等の場合：否＝賛成少数で否決・不採択等の場合）
- ・表決結果の記載方法（議員個々の賛否：賛成＝○・反対＝×・欠席＝欠・除斥＝除）：議長は表決に参加できません。

提出者	議案名	採決結果	高橋五輪夫	岸野雅人	高橋綾夫	角谷勉	白井孝雄	関忠夫	宮田眞理子	今村定一	佐藤守正	半澤利貞	師田保
臨時会	平成26年度一般会計補正予算（第10号）の専決処分の報告について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	否認権行使請求事件を和解することについて	可	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町総合福祉センター温泉ポンプ損害事故に係る損害賠償の示談について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	平成26年度一般会計補正予算（第11号）について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町	平成26年度一般会計補正予算（第12号）の専決処分の報告について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町常勤特別職の職員に対する給与条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例を廃止する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町教育委員会教育長の勤務時間その他の勤務条件に関する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町職員定数条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	湯沢町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町総合計画審議会条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町行政改革推進委員会設置条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町都市計画審議会条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町青少年問題協議会設置条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町防災会議条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町災害対策本部条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町行政手続条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町墓地条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	湯沢町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	湯沢町病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町公有林野官行造林地保護及び産物採取条例を廃止する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	越後湯沢駅前広場条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町電気自動車急速充電器使用料徴収条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町教職員住宅管理及び使用料条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町青少年育成センター設置条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町立保育園条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	湯沢町放課後児童健全育成事業に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町子どものための教育・保育給付に関する利用者負担額を定める条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
土地賃貸借契約（ガーラ湯沢スキー場）の締結について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
土地賃貸借契約（岩原スキー場）の締結について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
土地賃貸借契約（湯沢パークスキー場）の締結について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
土地賃貸借契約（ルーデンス湯沢スキー場）の締結について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
土地賃貸借契約（苗場スキー場浅貝グレンデ）の締結について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
土地賃貸借契約（ナスバスキーガーデン）の締結について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
字の変更（神立地内）について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
字の変更（三俣地内）について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成26年度一般会計補正予算（第13号）について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成26年度国民健康保険特別会計補正予算（第4号）について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成26年度介護保険特別会計補正予算（第3号）について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成26年度下水道特別会計補正予算（第5号）について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成26年度水道事業会計補正予算（第3号）について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成27年度一般会計予算について	可	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	
平成27年度国民健康保険特別会計予算について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成27年度後期高齢者医療特別会計予算について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成27年度介護保険特別会計予算について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成27年度下水道特別会計予算について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
平成27年度水道事業会計予算について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成27年度病院事業会計予算について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願	3月 農協改革をはじめとした「農業改革」に関する請願	否	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×
議会提出	湯沢町議会基本条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町議会議員政治倫理条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町全員協議会規程の一部を改正する規程の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

# 町

# 政

# を

# 問

# う

## 3月 定例会

議員が町政全般に対して、事務の執行状況や政策方針をただしたうえで政策提言いたしました。

- 佐藤守正議員「要支援の介護保険外しについて」…………… 17ページ
- 半澤利貞議員「除雪に助成で住み良い湯沢を!!」…………… 18ページ
- 角谷勉議員「公共施設に新電力導入を」…………… 19ページ
- 岸野雅人議員「地方創生は大仕事、より広く高い目線で」…… 20ページ
- 高橋五輪夫議員「湯沢の人口増の為に  
湯沢を生活の拠点にする若者や  
田舎くらし定住者誘致政策を本格的にはじめよ」… 21ページ
- 今村定一議員「上中子住宅団地土地の  
一定期間無償貸付けで定住促進を図れ」… 22ページ
- 宮田真理子議員「湯沢学園に特色ある教育を充実させるべき」… 23ページ
- 高橋綾夫議員「官民一体で町の総合戦略と  
それに沿った中心市街地活性化計画を  
策定し地方創生をはかれ」… 24ページ
- 南雲正議員「地方創生の総合戦略は健康保養地構想の実現で」… 25ページ

質問



佐藤 守正

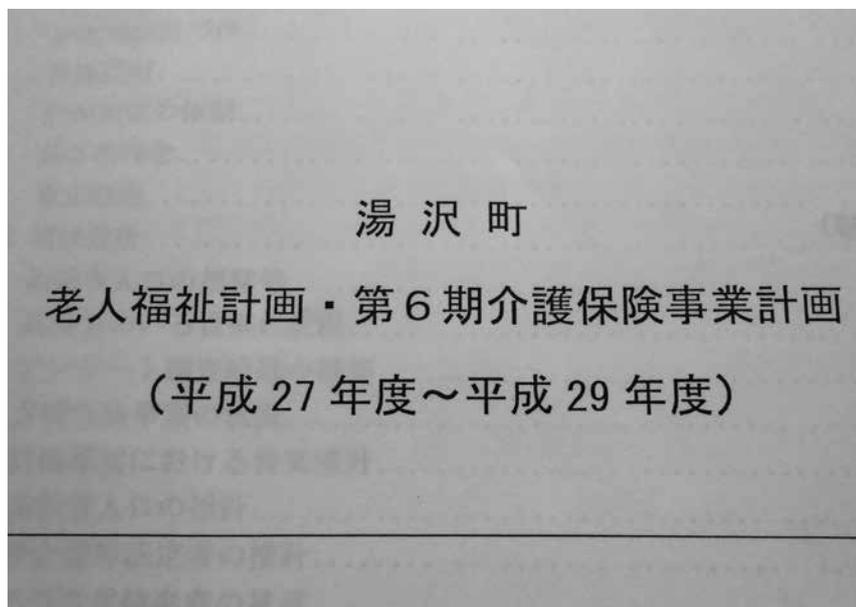
# 要支援の介護保険外しについて

## 答弁 地域の人材を発掘する機会として 前向きに捉えたい

問 介護保険法の改正に伴って、町は平成29年度から要支援1、2の人のデイサービスとホームヘルプを介護保険から外すとしている。町の計画によれば、2年後からはこの2つのサービスは町が行っている高齢者対策の事業として行い、その担い手にはボランティアなども活用するとしている。しかし要支援は介護状態になる全ての人が経過する段階であるだけに、その影響は大きい。この法案をどのように評価するか。

答 これまで町が任意で行ってきた介護予防・日常生活支援事業は新しい総合事業として行われることになった。2つのサービスはこの中に組み込まれる。ボランティアとの連携を図りながら、地域の人材を発掘する機会として前向きに捉えたい。

問 介護報酬が下がる中で、社協の経営も苦しくなっている。慢性的に赤字になっている訪問介護は、ほかの事業所が参入しないなかで、社協だけががんばっている。公的な性格を持つ社協の経営が行き詰まることのないよう、必要な援助はして



湯沢町

老人福祉計画・第6期介護保険事業計画

(平成27年度～平成29年度)

ほしい。  
答 社協は湯沢町にとつてなくてはならない組織なので、経営が行き詰まることのないよう注視をしていく。  
問 4点の注文をしたい。  
① 要支援の人のデイサービスは、これまでとおり社協などの事業所で行うようにしてもらいたい。またその介護の仕事はボランティアではなく、専門のヘルパーにやってもらいたい。  
② ホームヘルプも資格を持った専門家が当たるようにしてもらいたい。ボランティアの利用は、買い物・ゴミ出しなどの限定した仕事を、プラスアルファとして利用する場合に限ってもらいたい。  
③ 介護を希望する人には全員に要介護支援の案内を行い、認定審査を受ける権利の侵害にならないようにして頂きたい。  
④ 要支援者の介護報酬は、その価格を低く設

定すると利益がでないという理由で、事業所は要支援者を排除する恐れがある。少なくとも現行と同じ価格を維持してほしい。それは事業所の経営を維持する点からも必要だ。  
答 三番目の認定審査申請の権利は誰もが当然持つており、今現在でもその権利の侵害はないはずだ。  
あとの三点については即答はできないが、介護予防の手だてが必要な方々に、制度が変更されるなかで、どのようなことができるのか検討したい。

質問

# 除雪に助成で住み良い湯沢を!!



半澤利貞

**答弁** 情報の収集及び調査を行い、  
その上で判断をしていきたい

**問** 毎年冬になると屋根から落ちたり、雪の下になったり、梯子から落ちて怪我をしたり、一般的に冬場は若手が働いて、年寄が除雪をする…。不幸なことも起きかねない。若手が雪のない所に住んでいる場合には、倅や娘のところと同居したりする場合もあるが、年をとってから知らない土地へ行って、あまり良い話は聞かない。

環境省の「二酸化炭素排出抑制対策補助事業」(2/3補助)の導入に、町が更に助成をする事によって、安心して老後を湯沢で暮らせる幸せを！雪に負けない街造りのために、町内でも色々な方法で除雪対策をしている家があるが、灯油が高

いことや、電気料がかかること等で、せっかく設備にお金をかけても、それを使わずに手で雪下ろしをしている家を何軒も知っている。水にしたって電気料がかかる。色々な方法があるようだが、町で調査の上、国が奨める補助事業に取組む気持ちはあるか伺う。

**答** 雪国の除雪は宿命であり、この克服が大きな課題である。

半澤議員の提案する補助事業について、町として取り組むことが可能かどうか情報の収集及び調査を行い、その上で判断をしていきたいと考えている。

**問** 平成7年、湯沢～塩沢間にバイパスを造ろうということ、広域議会で期成同盟を造り、村山町長が同盟の初代会長となり、地元住民の意見を取り入れ、画も書いて取り組んできたところだ。

八箇峠の高規格道路を先行させてくれということ、で我慢してきたが、陳情活動は続けてきた。八箇峠の方はトンネルの爆発事故もあったが、工事は進められている。残念ながら湯沢～塩沢バイパス道路のほうは、26年度の陳情が行われていない。

いつ終わるのか？ さらにバイパスに工事がうつってくるのはいつ頃なのかを伺う。

**答** 湯沢塩沢間のバイパスについては費用対効果の面から事業化は難しいと聞いており、24年度に要望を行ったように、三

## 湯沢⇄塩沢道路の将来について

**答** 事業化は難しいと聞いている

国から塩沢間の幅員狭小・老朽化したトンネルの調査・検討や、歩道未

設置区間の整備、一般通行規制区間の防災対策などを含めながら湯沢塩沢間の要望をしていきたい。



国道17号 塩沢方面

質問



角谷 勉

# 公共施設に新電力を導入を

## 導入を前向きに検討する

**問** 新電力は自家発電保有事業者の余剰電力を電力会社の送電網によって電気を供給するシステムで、既存の電力会社よりも安く供給できるよう運営されている。

現在、一般家庭は地域の電力会社からしか電気を買えないが、来年以降は契約する業者を選べるようになる。

さらに政府は大手電力から送配電部門を切り離す「発送電分離」を2020年に実施し、電力料金の全面自由化を閣議決定した。

経済産業省で「電力小売自由化の効果」を公表している。

**①** 経済産業省ではすでに新電力を導入し電気料が4%程度の低減と

多くの税収が望めず経費の削減が求められている。当町でも庁舎、病院、学校等に新電力を導入し、経費の削減

なった。

**②** 地方公共団体では新電力の導入により行政コストを削減している。

**新電力導入例**

- 東京都271施設（水道局、建設局、教育庁等）約6・6%減
- 世田谷区 163施設（区役所、小中学校等）約6・9%減

県内でも新電力を導入する自治体が増えており、南魚沼市では庁舎や学校、病院等ほとんどの公共施設で新電力を導入している。

## 電力小売市場の自由化について

経済産業省 資源エネルギー庁  
電力・ガス事業部 電力市場整備課

平成25年10月

をはかる姿勢を示すべきでは。

**答** 来年度の予算編成は基金を3億円取り崩し、さらに9億円起債し、計12億円足りないという大変厳しい財政状況である。経費の削減のため各公共施設への新電力の導入に前向きに取り組んでいく。

## 質 合宿誘致のためのスポーツ施設の整備開発は

**答** 既存のスポーツ施設活用する

**問** 「観光振興計画」では、土樽エリアを「スポーツの拠点化整備」として

**答** 既存のスポーツ施設を活用する。

さらに来年度、だんろの家（元地ビール）前の西テニスコート4面を、7800万円かけてフットサルコート2面にして、大会誘致を図る。

宿泊施設から「町がどのような合宿誘致を対象にスポーツ施設の整備開発を行うのか方向性がわからない。

方向性がわかれば宿泊施設もそれを前提に設備投資や合宿誘致を展開できる」という声を聞く。

限られた予算である、どのような競技を対象に

**質** 公式大会開催が可能な中央公園テニスコートの4面が改修された。さらに備品等環境整備を行い大会誘致や合宿誘致を図るべきでは

**答** 環境整備を前向きに検討する

質問

# 地方創生は大仕事、 より広く高い目線で



岸野 雅人

## 答弁 地方創生推進本部を設置全町的に取り組む

**問** 地方版総合戦略策定に挑むのは大仕事。どのようにして策定して行くのか。

**答** 総合戦略は、町の総合計画との整合性がとれていなければならない。6月までに人口ビジョンを、10月から12月で総合戦略を策定する予定。

**問** 昨年の12月11日、東京都杉並区、南伊豆町、静岡県で、南伊豆町に杉並区の特別養護老人ホームを建設しようとする基本合意書が締結された。

**答** この事例、湯沢町のノリタ光学跡地として考えてみると、四季の移りも鮮やかな、お手軽な温泉リゾートの『特別養護老人ホーム（仮に500

床）が誕生するわけです。するとまず、建設工事のほか、毎年の管理のお仕事が発生します。

雇用はおよそ300人前後。主要な運営スタッフは東京からやってくるでしょうが、その働き手は、近郷から車だけでなく上越線・ほくほく線などを使つて通います。当然そのうちの何割かは、湯沢町に住まうでしょう。

正職員の給与は年300万円前後はありましようから、結婚してお子さんができる機会は増えます。また特養は毎月一度、入所者のご家族がお見えになります。年12回の訪問のうちには、ご家族連れやご親戚の来訪も考えられ、旅館にも泊まり、飲食店にも立ち寄りられます。

入所者の食事だけでも1日1500食。さまざまな日常消費が生まれ、地域経済活性化への好材料となります。

これは地方への人仕事の移動ですから、地方創生です。

チャレンジを公約とする町長として、今のお話

どのようなお感じでしょうか。

**答** 国は2060年の人口を1億人、私は開花八策に人口1万人を目指すとしている。ご提案は受け止める中で検討していきたい。

**問** 聞くところの、総合計画後期5年の見直しに地方版総合戦略の策定を兼ねるかのような考え方は、近視眼的ではあるまいか。

**答** この度の地方版総合戦略は、5年間の組み立てを考え、KPIを定めてやりなさいということ。3月9日に地方創生推進本部を設置、全町的に取り組むこととしました。

### アクセスの比較 (2月末現在)

※手元マップのナビによる

- 杉並区→南伊豆町  
車だと……3時間35分、210km  
電車だと…約3時間…6,980円
- 杉並区→越後湯沢  
車だと……2時間14分、178km  
電車だと…約2時間…6,790円

### 住宅地のおよその 公示価格の比較

杉並区……………約50万円 (1㎡)  
湯沢町中子…約2万5千円 (1㎡)  
※つまり杉並区は中子の約20倍。  
ノリタ跡地“約57,000㎡”を、仮に杉並区の公示価格で求めるとすると285億円となります。

KGI：重要目標達成指標  
KPI：重要業績評価指標



ノリタ光学跡地



高橋 五輪夫

質問

# 湯沢の人口増の為に 湯沢を生活の拠点にする若者や 田舎くらし定住者誘致政策を本格的にはじめよ

答弁 多面的に考え行っていきたい

問 リゾートマンションの低価格販売も功を奏してか、少しずつ定住者が増えている。

二地域居住の提言をしてきた官民の努力の結果が少しずつ実ってきているように思う。しかし仕事や所帯を持つ人、都会から戸建の田舎に憧れて越したいと思われる生産年齢人口対象者には紹介が足りないと思う。

また湯沢に職があるが、住居は町外に求める若者も多い。

これは不動産が高いだけでなく、諸課題に対して不十分な政策だったのでは。

特に人口減少が目立つ浅貝、二居、三俣は水力

発電所や全国有数のスキー場もあり、その地域に持続し人が住み続けることは重要で地域内格差や限界集落を作らない政策も必要。

そこで湯沢に不安なく住んでもらえるように田舎暮らしコーディネーター、アドバイザーを設置したらどうか？

雪国の畑の管理や育て方、鳥獣被害の有無、冬季は新ストーブの薪の確保や近隣住宅との雪の問題、消雪用の水の確保な

ど、住んでいるから何とかなる問題でも、新たに住もうと思ったらその障害になることが沢山ある。現実的な諸問題を解決し相談になれるアドバイザーや相談窓口を町民課や観光協会などに設置したらいかがか。

答 良い提案だ。現体制でできるか検討したい。



戸建ての田舎くらし

問 新ストーブの田舎暮らしは憧れます。しかし現実には薪の確保は大変です。

また湯沢は町有林が沢山有り間伐材を処理することは薪の確保だけでなく鳥獣被害にも役立つ。

例えばストックヤードを共同の薪の集積場に大型の新割り機を町民が誰でも借りられるような場所にする。

春夏秋は家庭菜園や山菜、きのこの収穫指導、冬は除雪機のレンタルや除雪相談などを行う湯沢独自の人材バンクを設立



共同薪割機

すれば、田舎暮らし支援センターになる。こういった制度をつくるのは民間では無理で町の政策としてはいかがか。

答 どのような方法が出来るか研究したい。

問 アルペンW杯は町民も参加協力できる体制やボランティアサポーター登録制度を設けられないか。

答 町民あげて開催したい。今後はサポーター制度を作って行きたい。

質問

# 上中子住宅団地土地の 一定期間無償貸付けで定住促進を図れ



今村 定一

答 弁 検討に値するので考えたい

**問** 町長は1万人を目標にされているが、計画の実効性の図面はどのように描いているのか示す必要がある。居住人口増加策の一環として、土地の一定期間の無償貸し付けと家族構成に応じた住宅建設費の助成金制度を実施する考えはいかにか。

**答** 現実的に目標を達成することは厳しいかと思いますが、将来の湯沢を創造した中で企業誘致と並行してイターンUターン等定住促進の観点から導入の必要性があれば研究検討をしていきたい。

質問 児童館建設の最終判断は何時か

答 任期中には一定の方向を出したい

**問** 町が童画に係わって20数年が経過、童画の町づくりの一環で開催を始めた「全国童画展」も19回を重ねてきた。収蔵作品も膨大な数である。地域住民が活性化の起爆剤として利用したいと、童画館建設の声を上げて来た事も事実として残っている。町長は「童画」と町の関係について明確な態度を表していない現状で回を重ねることは大きな疑念に感じる。

**答** 運営委員の皆様には大変感謝するとともに皆様の心情、想いも承知している。基金積み上げから15年経過する中で建設に至らない現状をどう判断するか。童画の持つ魅力は観光の町湯沢にとって大きな財産と承知している。温泉通りの活性化、旧湯沢小周辺公園整備、旧校舎利用も視野に、また現状のまま回を重ねることは現実的ではないと考え、町を系引する長としてあらゆる視点角度から判断して行く。

質問 湯沢学園12年教育の集大成はいかに

答 現状を維持する中で体制を整える

**問** 保・小・中連続する12年一貫教育学校「湯沢学園」の姿が28年4月完全スタートをする。同年

には県の教育方針も緩和され自治体の方針で進める事が出来る。現行の小・中体制も湯沢学園1



湯沢学園

校の体制も可能となり、全国に先駆けての12年生も現実性となるが。

**答** 教育長 保育3歳児を一年生と考えることは馴染まないと考え、現行制度の中で築き上げる事がベストと考える。

法改正に伴う小中統合の学園構想については今後の検討課題として、

**答** 町長 教育長の考えと同様である。

質問

# 湯沢学園に特色ある教育を 充実させるべき



宮田 真理子

答 弁 目指す姿は、湯沢に誇りを持ち  
次代を担うたくましい子ども

問 小中一貫の湯沢学園がスタートして一年がたとうとしている。何もかもが初めてのことで大変であったと察する。先日の素晴らしい卒業式は、関係者の努力の一部と評価している。

答 28年、認定こども園も開園され、12年の一貫教育となる。秋田、福井、長野県の教育を参考に、学力をあげる教育を目指してはいかがか。

答 激動の一年であり、今は道半ばである。成績レベルは、数年前よりは大幅良くなってきた。秋田、福井県は当たり前のことをやっているということである。27年度は当たり前のことを徹底的にやっていきたい。心豊かな、評価される人間、

目指す姿は、湯沢に誇りを持ち次代を担うたくましい子どもである。



湯沢学園

質問 企画政策室の今後の体制は

答 弁 総務部の下に置き課長以下4名

問 機構改革により、直轄の企画政策室(3名)から、総務部内の企画政策課となる。企画戦略推進室(仮)は町長の公約でもあり、中央省庁との人事交流もするということであった。126名の体制の中できちんとした体制が組めるのか。職員については適正な人員を確保するよう見直すべきである。また、設置場所

答 機構改革により、企画政策室は課長の下に、係長、担当2名をおく。その上に総務部長がいる。また、財政係を3名配置する。係長を置くことで、仕事は業務実施面でプラスになる。この機構改革は、少ない人員でも効率よく業務を行うためである。

質問 女性職員の管理職登用を

答 弁 人的資質能力をみて登用して行きたい

問 以前、税務課長に優秀な女性が登用され、微収率をあげる等の働きがあり高く評価していたものである。また、今年度、新たに班長となった女性の働きも感心するものである。今後の女性管理職

答 登用についてのお考えはどうか。

答 男女の別を考慮していないが、国でも女性を3割と言っている所である。今後、人的資質や能力を見て登用していきたい。

質問

# 官民一体で町の総合戦略とそれに沿った中心市街地活性化計画を策定し地方創生をはかれ



高橋 綾夫

答 弁 計画を作成する考えはない



問 国が大々的に地方創生の方針を打ち出し、さまざまな支援が受けられる今この時期に、町としても官民一体でしっかりとした総合戦略を作成し、それを達成するために中心市街地活性化計画を策定して新しい湯沢町の創生に取り組むべき。

答 中心市街地活性化法の要件に合うところが湯沢にはないと思うので、計画を作る考えはない。

問 昨年、十日町市は経産省から人員派遣を受けて作成、認定を受けた。全国、市、町、村、大小関係なく申請できる事業

で本当にできないか調べてください。

答 2060年を目途とし、人口ビジョンを基に5年間の総合計画を進めて行きたい。手法や内容は内閣府と連絡を取って損のないよう進めて行く。

質 異なる気候や文化を持つ多くの都市と姉妹都市提携を結べ

答 井 マグナとの姉妹都市関係を優先に行っていく

問 世界から見た湯沢の魅力を再認識するために、湯沢と異なる気候や文化を持つ国内外多くの都市と姉妹都市提携を結び、官民共に積極的な交流を計り町全体でグローバルな感覚を身につけよ。

答 英語勉強だけがグローバル化への取り組みではないし、マグナーカ所だけの教育交流では育たない。多種多様な人達と民間交流を計り世界的な感覚、考え方を身につける事が必要。

答 マグナとの姉妹都市関係を優先に行っていく。ALIT配置、公民館英語教室、観光案内所職員の英語研修等行っていて、今後もグローバル化に対

恩納村を含めどのような交流ができるか研究していきたい。

質 各種委員会、審議会の見直しはどうか

答 井 今後一定期間をおいて見直す

問 一昨年12月に検討し必要がある見直すとの回答、昨年6月にこれから調査検討するとの返答、そして先の12月定例議会では各課に指示を出したので1月中旬に結果を報告すると回答しているが、この一般質問状提出時、

2月20日現在いまだに報告がない。一体どうなっているのか。(2月27日に報告あり)

答 大変申し訳なかった。今後一定期間をおいて見直しを行っていきたいと思う。

質問

# 地方創生の総合戦略は健康保養地構想の実現で



南雲 正

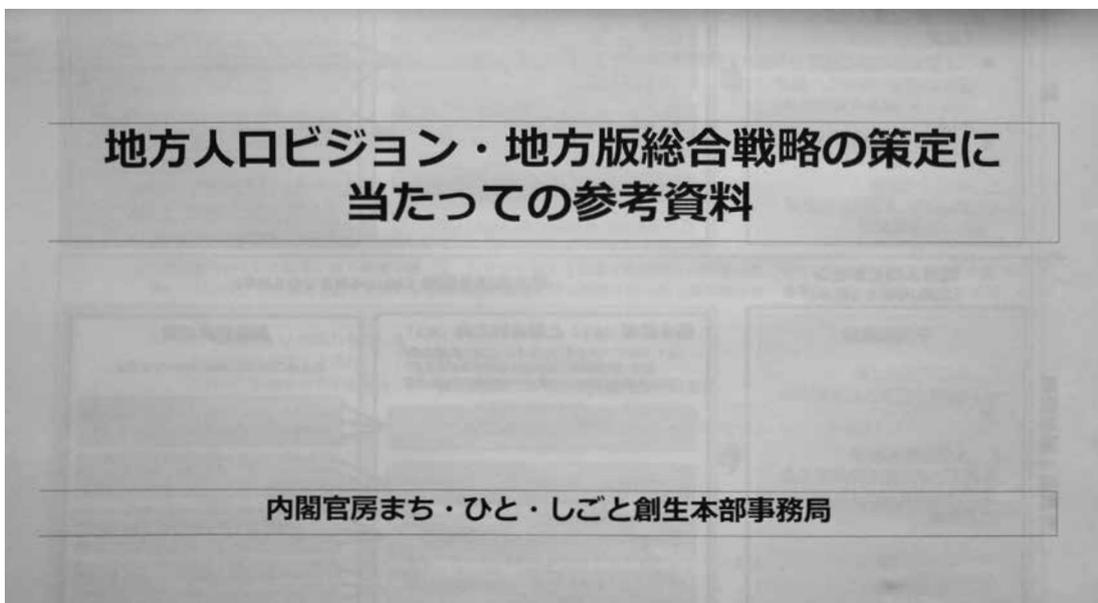
**答 弁** 健康保養地構想を総合戦略の各分野における具体的施策にできるのか研究したい

**問** 国は人口減少問題の克服、地域経済活性化を旗印に地方創生法を成立させ、全国の自治体には地方創生の主役となる地方が生き残りをかけて新たなスタートを切るチャンスを与えられた。湯沢町においても、温泉を利用し健康をテーマにした健康保養地構想がある。まさに今後の町づくりの方向性を示しており、地方創生の地方版総合戦略にふさわしいものであるこの構想の実現で観光湯沢の活性化を図るべきではないか。

**答** 総合戦略は、将来の人口ビジョンをもとに、5か年の基本目標と施策の基本的方向を定め、分野ごとに具体的な施策を定める構造となる。施策

は新規事業である必要がなく、既存の事業が含まれてもよいことになっている。健康保養地構想は、

総合戦略の各分野における具体的施策として研究したい。



**質 問** 雪遊び体験パークを大源太の旭原雪原に開設して、冬季観光の多様化を

**答 弁** 体験工房の指定管理者と協議して事業の可能性を精査する

**問** 歩くスキー、スノーシューと冬の楽しみ方が多様化しているなか、体験工房大源太の施設を活用し、常設のクロスカントリコー스를旭原の雪原に整備すれば湯沢学園のクロカン部の練習場、クロスカントリ合宿、歩くスキー、スノーシュー体験も楽しむことができる。雪国体験を基

**答** これからはスキー、スノーボード以外の雪国の楽しみ方を提供することが必要であると考えている。体験工房の指定管理者と協議し、問題点を精査したい。

**質 問** 湯沢発電所のタービン建屋崩壊事故の対応について町も意見具申を。

**答 弁** 企業の個々の対応について町が指示することは難しい

**問** この事故は無人施設ではなく、地域を熟知した職員が常駐して適切な管理ができていれば防げたはずである。管理部門を町に誘致し、建屋の改修工法等についても町として意見具申をする必要

**答** 建物改修に対する意見具申と管理部門の誘致は町にとっても経済効果、雇用等にメリットがあり、企業が対応してくれることが望ましいが、会社の問題であり難しい。

# 信頼される、開かれた議会を目指した4年間

湯沢町議会議長 南雲 正

## ○開かれた議会への取り組み

- ・記録を伝える「議会広報」から、読んでもらえる「議会だより」
- ・議会本会議、一般質問の音声ネット配信（平成24年3月議会から）
- ・エフエム雪国による一般質問のラジオ放送（平成24年3月議会から）
- ・議会本会議、一般質問のユーストリームインターネット実況中継（平成25年6月議会から）
- ・町民との意見交換会の実施（平成26年12月1日）
- 信頼される議会への取り組み
- ・議員勉強会の開催（議会毎に提出議案の研究、他）
- ・議会基本条例（平成27年3月23日制定）
- ・議員政治倫理条例（平成27年3月23日制定）

議員任期が4月29日で終わります。議員12名は「町民の皆様へ信頼される、開かれた議会」の実現を目指して4年間取り組んでまいりました。

新人議員6名で構成された広報常任委員会では、記録を伝える議会広報から、読んでもらえる議会だよりへの転換を図り、各方面から評価を得ていきます。

エフエム雪国による一般質問のラジオ放送、ユーストリームインターネット配信での議会実況中継、初めての町民との意見交換会等を実施することもできました。

議会が町民の意思を町政運営に的確に反映させ、負託に応えるための基本ルールを定めた湯沢町議会基本条例、議員が町民の代表として遵守しなければならぬ行動基準を定めた湯沢町議会議員政治倫理条例を議員有志9名による2年間に及ぶ勉強会、研究会を経て制定することができましたことを報告させていただきます。

「信頼される、開かれた議会」への基盤整備がほばできましたので、新議会の更なる取り組みを期待します。



## 編集後記

4年前、6名のうち5名の新人議員が広報委員となり、「議会だより」の編集が始まりました。

先輩議員からは「思いのままに自由にやいなさい」という暖かい言葉をいただき感謝すると同時に重い責任も感じ、委員全員で「議会だより」とはどうあるべきかを論じたことを思い出します。

「ありのままに」「わかりやすく」「町民目線」をモットーに各委員の積極的な取り組みにより現在にいたっております。特に「議会の広報」という点で参考になったのは「議会の自由な討論度」「市民参加度」「透明度」調査で全国3位に表彰された山形県庄内町議会で研修を受けたことです。

当議会も「FM雪国」での放送や議場にカメラをいれてインターネットでの音声及び映像配信をしていますが、庄内町議会では9年前に議会映像情報を町内各施設のモニターテレビで配信しています。

また、湯沢町ではこの3月定例会で制定された、議会はどうあるべきかを定めた「議会基本条例」は、庄内町ではすでに7年前に制定いたしております。

そのほか公民館等で議会の会議録を

閲覧できる等、当町と比較すると「開かれた議会」「議会の情報公開」という点ではるかに進んでいることに驚きました。

広報委員会は「議会だより」で議会の内容をわかりやすく町民の皆様にお伝えすると同時に、さまざまな方法で議会の情報公開に取り組んでいくことの重要性を再認識いたしました。

「湯沢町議会基本条例」に定めたとように、多様な広報手段を活用し、特にインターネットを使い、議会の報告事項だけでなく、重要な案件や町民の皆様が関心をもつような案件はインターネット等で審議前に迅速にお知らせできるように広報活動することを次期広報委員会に期待したいと思います。

今後ともご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

広報委員長 角谷 勉

### 広報委員会

委員長 角谷 勉

副委員長 白井孝雄

委員 岸野雅人・高橋綾夫

委員 関 忠夫・高橋五輪夫

### 編集

湯沢町議会広報常任委員会